

くまがわ・明日の川づくり報告会 VOL. 1 0

開催地：錦町

平成 19 年 6 月 13 日（水）、錦町において、「くまがわ・明日の川づくり報告会」が開催されました。

錦町西コミュニティーセンターにて開催された同報告会には、約 20 名の方々にお集まり頂き、球磨川水系河川整備基本方針の内容や小委員会等での審議の状況についてご報告いたしました。

質疑の際には、下記のとおりご意見等をいただきました。

参加者数※

町内	15 名
町外	6 名

※参加者数は記名者数

住民の方々から頂いた主なご意見・ご質問

【河川整備基本方針の説明について】

- ・民間の方が治水計画などのデータを出しているが、国土交通省の説明するデータとは違っており、かなり差がある。これらのデータに関してどのように考えているか。

【球磨川の治水対策について】

- ・半年位前に、人吉球磨の森林の荒廃は全国でも No.1 というように新聞に出ていたと思う。市房山の裏の石堂山に登ったときに、宮崎県側で林道工事が多く行われていて、そこから、がけ崩れや土石流が怖いほど発生していた。そして、発生した土砂が川に流れ込んで、川底を上げたりしている。森林の整備事業について、国土交通省はどう思っているのか。
- ・昭和 40 年の水害にあった時、夜中の 2 時半ごろに堤防を見に行くと、堤防の上まであと 30cm のところに水が来ていた。、恐ろしくなって家に帰ると、水が炊事場まで来ており胸まで浸かって逃げた経験がある。説明で人吉に水が一番出たのは朝の 6 時位とのことだったが、川辺川の深水から人吉まで 4 時間もかかって水が流れたのかなと思った。。

【球磨川の環境について】

- ・小さい頃から球磨川に親しんでいて夏になると川で遊んでいたが、その頃は川砂もきれい魚もいっぱいいた。最近川の水が汚い。昔は下の石もきれいに見えた。昔みたいにきれいな川にならないか。
- ・昔は向こう岸まで泳いで渡っていたが、今は大きい石があったり、川の中に島のようなものができ、そこに大きい木が生え下流には泥がいっぱいたまっている。掘削できないものか。
- ・昔は川端をクワで掘って染み出てくる水を飲むことができるくらい球磨川はきれいだった。
- ・球磨川の環境を考える上では、社会環境や生活環境が一つの重大な問題。昔は自分達で汲み取りを行い田畑などで肥料として使っていたが、今は生活が裕福になり、汚水物、下水などを処理場に集めて川に流している。、大腸菌などの基準は守れているかもしれないが、きれいではない。人吉から下流は川幅も狭く、落差もあるから水は流れある程度きれいになるかもしれないが、木上の方や錦町は平地なので水質悪化の被害を一番受けている。
- ・ダムを造って川辺川の水が流れなくなれば、人吉観光の目玉の球磨川下りもできなくなると思う。
- ・全国的に川の管理をがんばって昔の環境にかえて欲しい。
- ・河川の堤防に休憩所みたいなものをつくってもらえないか。八代では丸太で作ってあった。
- ・竹やぶがあってその中にゴミがいっぱいあり毎年片付けている。国土交通省のパトロールはどの程度の頻度でなされるのか。
- ・堤防の除草は年に何回されるのか。
- ・球磨川の支流で最近水がきれいになり、蛍が増えてきているところがある。これは、カワニナが増えており、川の水もきれいになったということだと思うが、そこにヨシがいっぱい増えているので何とかして欲しい。

※ ご発言をそのまま掲載するのではなく、趣旨を変えない程度にまとめさせて頂いています。

※ ご質問への回答については、アンケートで寄せられたご質問への回答と合わせて、後日 HP に掲載させていただきます。

